

運営推進会議 会議録

事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 牧島荘								
所在地	長崎市牧島町9-1								
開催日時	令和4年11月8日 火曜日 10:30~11:50								
開催場所	介護老人福祉施設 牧島荘 フリースペース								
出席者内訳	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">利用者 1名</td> <td style="width: 50%;">知見者 2名</td> </tr> <tr> <td>家族代表 1名</td> <td>長崎市職員 1名</td> </tr> <tr> <td>民生委員 1名</td> <td>事業所職員 3名</td> </tr> <tr> <td>地域代表者 1名</td> <td>施設職員 2名</td> </tr> </table>	利用者 1名	知見者 2名	家族代表 1名	長崎市職員 1名	民生委員 1名	事業所職員 3名	地域代表者 1名	施設職員 2名
利用者 1名	知見者 2名								
家族代表 1名	長崎市職員 1名								
民生委員 1名	事業所職員 3名								
地域代表者 1名	施設職員 2名								
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 活動報告 期間令和4年8月~10月 2. 利用者状況・事故ヒヤリハット報告 3. コロナ感染症への対応 4. 推進委員からの意見 5. サービス評価総括 								
配布資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用状況内訳表 2. ヒヤリハット・事故報告内訳表 3. 勉強会・消防訓練実施状況/地域における公益的な取り組み 4. 防火訓練の案内 5. 併設事業所コロナ感染拡大に伴う小規模多機能事業所の対応について 6. 推進委員からの意見書 7. サービス評価総括表 8. 牧島荘たより 								
活動報告	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の様子をスライドで報告。(敬老会、移動販売、中庭での活動等) 7月から健康経営の取り組みとしてウォーキングと10月に職員の運動会を実施。長いコロナとの戦いで心身ともに疲れた体を元気にしたい。職員が楽しむ姿を見てご利用者にも元気を与えたい。そんな思いが伝わったのかご利用者、職員からも沢山の声援、笑顔を見ることができた。 ・ 看取りの事例報告。主治医、訪看と協力し、ご家族に見守られながら最期の時を迎えることができた。またご利用者、職員みんなでお別れができ良い経験をさせていただいた。 ・ 併設事業所のコロナ感染拡大時の対応について報告。事業所間の扉を施錠し職員の交差を無くしたことで小規模への感染を防ぐことができた。しかし通所の利用控えがあり8、9月は利用が減った。支援内容を訪問へ切り替え状況に合わせた対応ができた。 ・ 事故報告4件のうち3件が職員の不注意によるものである。運営推進会議の内容共有と併せて再発防止に向けて注意喚起を行う。 								

サービス評価総括	資料を基に内容を共有。大項目6つの中から主に3項目について詳しく説明する。自分たちがやるべきことを見える化したことで、各自が責任を持って仕事に取り組むことができるようになり、事業所自己評価で掲げた課題もおおよそ達成することができた。また、推進委員からの意見はとても好意的で温かくメンバーが励みになる内容が多かった。
出席者からの評価	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売が牧島荘から町内へと広がり地域の皆さんが助かっているようですね。 ・運動会など企画側も一緒になって楽しむことはいいですね。やってみないと分からないこともある。勉強になりました。 ・コロナ発生時の対応、判断、備えが良かった。 ・よく頑張りましたね。地域に開放する動きが広がってきていますね。 ・広報誌は見てもらえる様な工夫がありとても良いと思いました。 ・牧島荘ができて22年を思い返していました。牧島荘がなかったら島はどうなっていたのか、1人では手に負えない問題があった。島全体が開けた感じになり感謝している。 ・良くまとめている。5年前とはずいぶん変わった。職員によく目を配り温かみを感じます。 ・来るたびに内容が濃くなっているのを感じる。以前は親が倒れても自分たちで見るしかなかった。牧島荘ができて本当に良かった。世間では虐待の話も聞くがここではありえないと思う。 ・今回初めて老衰という形で親の看取りを経験させてもらった。コロナ禍でも面会でき最期の時を一緒に過ごすことができ本当に良かった。職員さんが良くしてくれているのを見て「良かった」「頑張ってくれた」と母と話している。死について話すのはしにくいことだと思うが、こういう最期もある。施設でも幸せに過ごせることをみんなにも知ってもらいたいと思った。
要望、意見及び助言	<ul style="list-style-type: none"> ・芋ほりや運動会、自治体や幼稚園と一緒にできる方法を検討してみてもいいですか。 ・ちょっとしたことが大きな事故につながる可能性がある。訪問の未実施はもしその時に何かあったら事業所の責任になります。入室、退室時に連絡し確認を取るなどした方が良くはないか。 ・サービスの振り返りはとても重要です。PDCAを利用してグループに分かれ改善策を考えながら年度末に発表するなどしてはどうか。 ・地域の学びの場として「何かあれば牧島荘」と言われるようになることを期待しています。
次回の開催予定	<p>令和5年1月10日 火曜日 10:30～11:30</p> <p>介護老人福祉施設 牧島荘 フリースペース</p>